

サンフレキ ROBO,N2KD,N2KM コンビネーションカップリングの施工は下記の要領で行って下さい。

1.サンフレキ ROBO 附属品 N2KD,N2KM 部品構成

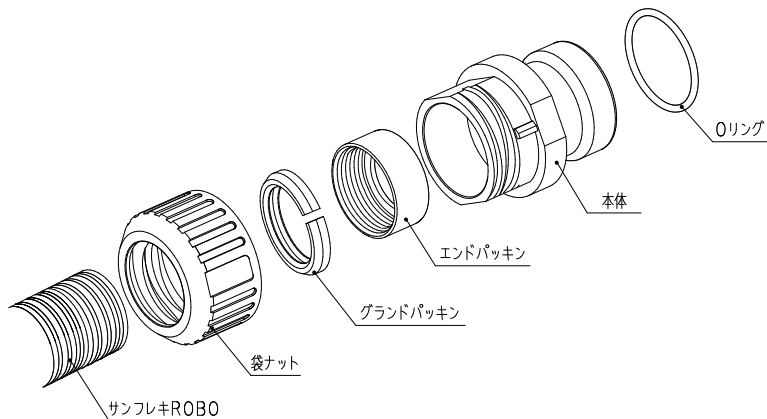


図1 N2KD (MS コネクタバックシェルなし用)

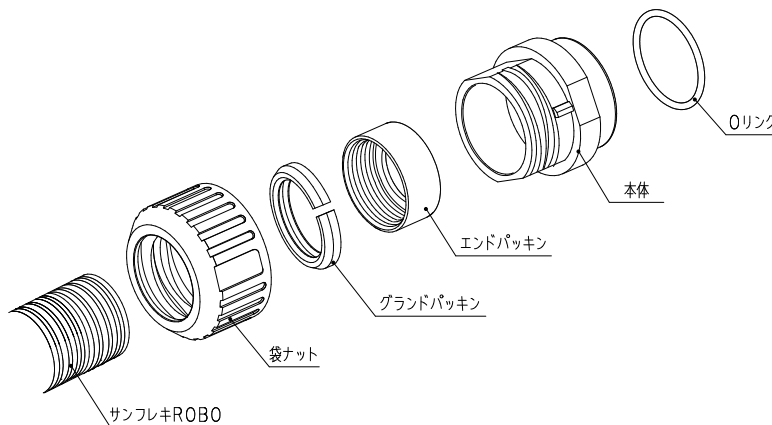


図2 N2KM (MS コネクタバックシェル付き用)

2.サンフレキ ROBO を必要な長さに切断します。

☆ 切断は、フレキシブルカッター(メリー製 品番 FL38)又はカッターナイフをご使用下さい。

☆ 切断は、サンフレキ ROBO の溝部に沿って、垂直に行って下さい。

3.ケーブルを通線します。

☆ サンフレキ ROBO およびカップリングにケーブルを通線し、ケーブルと MS コネクタを結線します。※袋ナットを外す必要はありません。

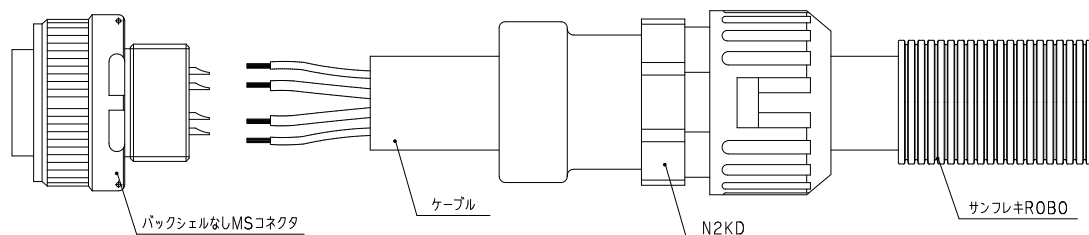


図3 (例:N2KD の場合)

4.カップリングと MS コネクタを接続します。

- ☆ 結線後、MS コネクタにカップリングをねじ込みます。
- ☆ カップリングと MS コネクタの接続は手締めにて行って下さい。増し締めを行う場合はアルミたて型モータレンチ(スーパーツール製型番 MFT68A を推奨)、プライヤー等を使用して締付けて下さい。

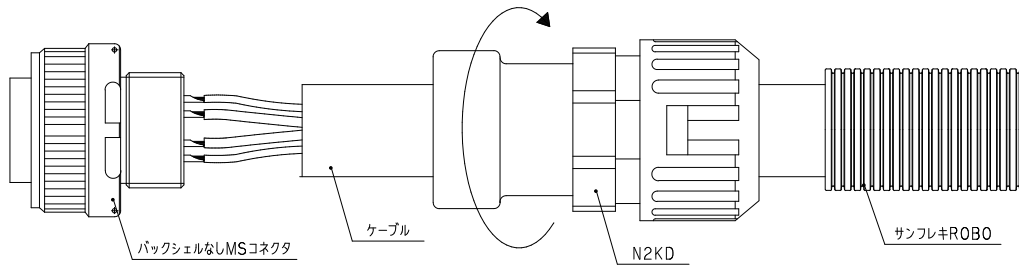


図 4 (例:N2KD の場合)

【注意事項】

- ① MS コネクタの結線部にコーキングを行う場合は、MS コネクタのねじ先端の面にコーキング剤が付着しないように注意願います。フレキコネクタ内部の防水用 O リングとの密着性が損なわれ、接続部から漏水する恐れがあります。
- ② 工具による過度な締め付けは、ねじのとびや破損につながる恐れがあります。

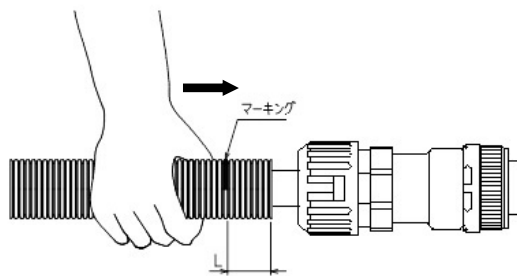
【参考締め付けトルク】

シェルサイズ	トルク値 (N・m)
10～14	0.8～1.0
16～24	2.0～4.0
28～36	5.0～7.0

5.サンフレキ ROBO を差し込みます。

- ☆ 奥まで確実に押し込んで下さい。
- ☆ 挿入が浅いと水漏れの原因になりますので、フレキを回すようにして必ず奥まで押し込んで下さい。

マーキングの位置

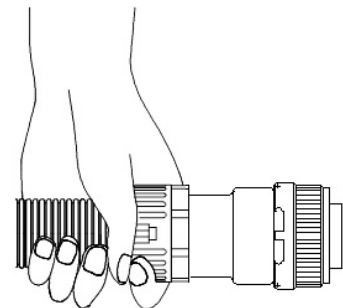


メートルサイズ	端面からの距離 L(mm)	ヨーロッパサイズ	端面からの距離 L(mm)
12	25	21	25
16	25	28	29
20	26	34	30
25	29	42	33
32	30	54	35
40	33		
50	34		
63	38		

6.袋ナットを締め付けます。

- ☆ 袋ナット端面が本体フランジ部に当たるまで、手で確実に締め付けて下さい。カチッと固定される感触があります。
- ☆ 締め付け後はマーキングと袋ナット端面が約 1 ピッチずれます。
- ☆ 締め付け後、袋ナットを逆回しにして袋ナットが戻らないことを確認して下さい。

作業完了



※上記のとおり接続を行うことで、防水性(IP コード)は IP67 (完全な防水で防浸型) 仕様となります。

解除方法

7.1 附属品が MS コネクタに接続されていない場合

図5のように、袋ナットの四角穴のあるフランジ平取り部をバイスに挟み、軽く締め付けます。(約0.5~1mm程度) 袋ナットの2ヶ所の平坦部を親指と人差し指で強くはさんで潰した状態で、袋ナットを四角穴側(C側)に寄せながら袋ナットを矢印B方向に回すと袋ナットが緩みます。(手で外れない場合は、プライヤーを使用してください。) 約半回転で袋ナットが止まりますので、さらに手で袋ナットを矢印方向に強く回すと約半回転で袋ナットが外れます。サンフレキ ROBO についているグランドパッキンと袋ナットを外してください。

7.2 附属品が MS コネクタに接続されている場合

図6のように、袋ナットの2ヶ所の平坦部を親指と人差し指で強くはさんで潰した状態で、袋ナットを四角穴側(C側)に寄せながら袋ナットを矢印B方向に回すと袋ナットが緩みます。(緩まない時は、図7のように袋ナットの四角穴にマイナスドライバーを強く差し込んで、フレキ側(矢印A)に倒しながら袋ナットの2ヶ所の平坦部を持って、矢印B方向に回して緩めて下さい。) 約半回転で袋ナットが止まりますので、さらに手で袋ナットを矢印方向に強く回すと約半回転で袋ナットが外れます。サンフレキ ROBO についているグランドパッキンと袋ナットを外してください。

【注意】 ドライバーを四角穴に差し込んで倒す際、附属品を手で持つとドライバー先端が穴から外れて手や顔を傷つける恐れがあります。袋ナット解除の作業はできるだけ附属品をボックス等から外さずに行い、怪我をしないよう十分注意してください。

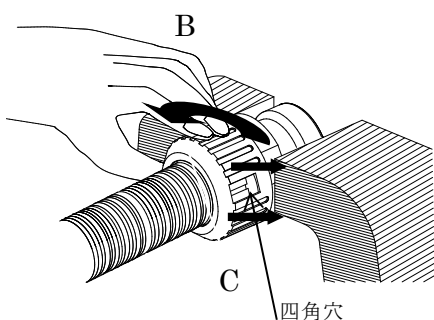


図5

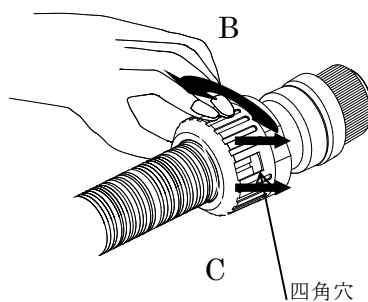


図6

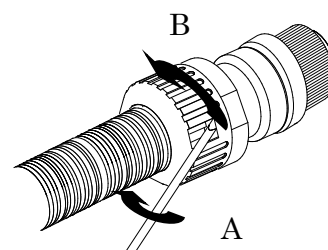


図7

8. 再び取り付ける場合は、グランドパッキンの方向に注意して(図1参照:フラット面がコネクタ本体側になる)袋ナットに入れ、時計方向に袋ナットを回すと、約半回転でカチッと音がして袋ナットが軽く止まります。

この状態が初期状態なので、ここからサンフレキ ROBO の接続を始めて下さい。

